

ゆりかごから〇〇〇まで

池野 一秀

長野松代総合病院小児科部長 (長野市)

● ゆりかごから始まる

我々小児科医は、生まれたての新生児から中学生までが治療対象とされています。しかし、実際には、中学校は卒業したけれど、小児科は卒業できない患者さんが少なからず存在します。しかも、小児科外来には、患者さんである子どもだけでなく、必ず付き添いの家族もやってきますので、お母さん、お父さん、おばあちゃんなど実にさまざまな年齢の方々と顔を合わせるようになります。しかし、小児科の出発点は、新生児期から1歳未満の乳児期ではないでしょうか。この年代に、漢方薬を使わない手はありません。

● 赤ちゃんはワックス (胎脂) がかかって生まれてくる

赤ちゃんは、お母さんのお腹の中で、単細胞の受精卵から人間の姿になるまで、生物の進化の歴史を辿って大きくなります。在胎22週を過ぎたくらいの早産児は、まだ両生類の名残が残っているのか、ゼリーのようなぷにぷにの皮膚をしています。体重600gぐらいの赤黒いカエルのような物体を「先生、お願い!」と助産師さんから渡されても、自分の手のひらに乗っているぐにゃぐにゃの生きモノが人間であると認識するまでしばらく時間がかかります。しかし、無事に育てば、皮膚がしっかりし、目をぱっちりと開け、やが

て微笑むようになるのですから、命って本当に不思議です。一方、予定日を過ぎて大きく育った赤ちゃんは、全身バターのような黄色い胎脂に覆われています。この皮脂の過剰分泌傾向は、生後もしばらく続き、特に頭皮に脂漏性湿疹をきたす場合が多くみられます。

生後2週間の女の赤ちゃんは、お母さんの産後の体調が思わしくなく入院が長引いたため、お父さんに背負われて病院へ来ました。頭には、分厚くかさぶたのようになった皮脂がはりついていました。核家族のお父さんは、妻の心配と子どもの世話で疲れ果て、「この子の顔を見るたびにどうしたらいいかと思って……」と暗い顔でため息をついていました。こうした場合、外用剤を塗ってもなかなか改善しないこともあるので、治頭痛^{ちづそういっぽう}一方を1日に1/5包分2で5日分処方しました。

「生まれたばかりの新生児に漢方薬を飲ませていいんですか」という質問をときどき受けますが、治頭痛一方は添付文書の効能・効果に「乳幼児の湿疹」と明記されており、むしろ胎毒下しとして生後間もない新生児を投与対象としています。投与量は、体重1kgあたりエキス顆粒0.15g/日程度を目安としますが、処方日数を工夫して、総量で1包2.5gの倍数になるように計算するのが、薬剤師さんへのさりげない心遣いです。

一方、それまで石鹸で洗っていた頭部をベビーシャンプーで洗うようにとの指導も行いました。助産師さ

んの中には、なぜか赤ちゃんの頭は石鹸で、顔はお湯だけで洗うように指導する人が今でもいるのです。そして、3、4日後には頭の皮脂はきれいになり、お母さんの退院日も決まり、お父さんの表情も柔らかくなりました。

●××の泣く夜は

産後間もない疲れたお母さんを悩ます赤ちゃんの症状に、夜泣きがあります。そもそも昼間は起きて夜眠るという行動は、体内時計によって調節されています。しかし、生まれて2カ月までの赤ちゃんは体内時計がまだ活動を開始していないので、フリーランニングという状態です¹⁾。この時期の赤ちゃんはお腹が空けば泣き、満腹になれば眠るというパターンを3、4時間ごとに繰り返します。そして、3カ月くらいで夜泣きはピークを迎え、それを過ぎる頃から朝の光を頼りに体内時計の調節が始まり、夜眠る生活が確立していくといえます。ベトナムには「100日泣き」、日本各地には「3月と3日泣き」という言葉が残っているそうですから、この時期の赤ちゃんの夜泣きがひどいのは、世界共通なのでしょう。

東京都で乳児健診の際に行われたアンケートにより、養育者からみた夜泣きの経験の頻度は3、4カ月健診に来る乳児で18.7%です²⁾。3歳では80%以上の割合で夜泣きが消失していました。しかし、夜泣きに対して、これといって推奨される治療法はありません。私事で恐縮ですが、我が家の娘も夜泣きがひどく、たまりかねた私は布団を寝室から玄関先までずるずる引きずって行き、朝までそこで寝ていたこともありました。

●夜泣きこそ漢方薬で

漢方薬、民間薬には、夜泣きの効能を謳ったものが多数あります。数が多い理由は、「これ一服ですべて解消」といった決め球がないことと、やはり体質によって方剤を選択する必要があるためと思われます。実際、

漢方エキス剤でも効能・効果に夜泣きが記載されている処方³⁾は、柴胡加竜骨牡蛎湯・抑肝散・甘麦大棗湯・抑肝散加陳皮半夏・小建中湯などがあり、これ以外にも飲んでいっているうちに夜泣きが止まったとお母さんから言われる薬もあります。

話が戻りますが、娘の夜泣きで慢性睡眠不足が続く、ボーッとした頭で診療を続けていたある日、「子どもの夜泣きがひどいから何か薬を出してほしい」というお母さんがみえました。「漢方薬なら夜泣きによく効く薬がありますよ」と言ってから、自分ではとしました。なぜ、それまで思いつかなかったのでしょうか。その患者さんを診察し、10カ月の乳児にも関わらずはっきりとした胸脇苦満を確認して、柴胡加竜骨牡蛎湯1日1/2包を分2で処方しました。当然、同様の体質だった自分の娘にも同じ処方を持って帰りました。結果、双方の家庭でその日のうちに静かな夜が訪れたのは言うまでもありません。

●20時間の涙

このように、夜泣きの処方⁴⁾は、当日から著効することも多いのですが、中には手を変え品を変え処方⁵⁾を繰り返しても、全く焼け石に水といった手ごわい夜泣きも存在します。

病院関係者のお子さんである2カ月の女の子は、1日20時間くらい昼夜を問わず激しく泣くという症状で、お父さんから相談を受けました。乳児期早期で、そんなに長時間起きていられるはずがないと、泣いた時間を正確に記録していただきましたが、実際に20時間以上も泣き続けていることがわかりました。お母さん1人では、確認しきれず、お父さんも協力してようやく、丸一日の記録がとれたのです。こんな泣きかたをされたら、いくらフリーランニングの時期といえども、父も母も疲れきっていて、成長するまで待つていられる状況ではありません。

診察してみると、胸脇苦満・腹直筋緊張・鼠径部の圧痛などの所見を認め、腹直筋の緊張を目標に、まず、甘麦大棗湯1/4包を朝晩2回に分けて処方してみま

した。2週間後、多少泣く時間が減少しましたが、まだ長時間泣いていました。さらに、柴胡加竜骨牡蛎湯に変えたところ、また、泣く時間が増えて、元に戻ってしまいました。今度は、桂枝加竜骨牡蛎湯けいしかりゅうこつぼうれいとうにしたところ、多少は泣く時間が減少しました。泣きかたを一番近くで見えてきた父の提案で、朝は桂枝加竜骨牡蛎湯を1/8包、晩は甘麦大棗湯1/8包としてみたところ、2週間後にお父さんが言うには「まあまあ効果」があり、さらに2カ月続けました。その後、診察に顔を出さなくなったので、様子はどうかお父さんに聞くと、なんと民間薬の〇〇〇命丸金の〇で完治したというではありませんか。ちなみにその薬に含まれている成分をみてみますと、ジャコウ（麝香）・ゴオウ（牛黄）・レイヨウカク（羚羊角）・ギユウタン（牛胆）・ニンジン（人参）・オウレン（黄連）・カンゾウ（甘草）・チョウジ（丁字）と多数の動物性生薬からなり、中にはワシントン条約に抵触しそうなものも含まれていました。この症例では、漢方薬が民間薬に負けたのではありません。私の漢方医としての未熟さが、お父さんの娘を治したいという熱意に負けたのです。「池野先生のおかげで、漢方薬が目に向いたのがよかったと思います」とお父さんから、地元で有名なアイスクリームをお礼にいただいたのですが、アイスクリームの甘さに反して、私には忘れられない苦い思い出です。

●夜泣きといえば抑肝散

夜泣きの処方として有名なのは、明代の『保嬰撮要ほえいさつよう』に登場する抑肝散です。また、抑肝散というも母子同服という言葉の思い出す方も多いと思います。母子同服の例をご紹介します。

7カ月の男児ですが、夜間5、6回は目覚めて大声で泣き、なかなか泣き止みません。その傍らには、3歳の兄がいて、彼は弟の妊娠がわかってから両手を掻きまくり、皮膚が赤むけになっています。この兄が、弟の夜泣きで起こされると、激しく手を掻くので、それを見ている母のイライラがますます募って、母も手を掻いてしまうというのです。そこで、

弟には抑肝散1日1/2包分1（眼前）、兄には抑肝散加陳皮半夏1包/日分2と消風散しょうふうざん1包/日分1（眼前）、母には抑肝散うんせいいんと温清飲各1包/日分1（眼前）を処方しました。2週間後、お子さん2人の症状はだいぶ改善しましたが、母のみ手の掻き傷が残るため、抑肝散を抑肝散加陳皮半夏に変更し、3人とも症状が落ち着きました。

このように、日本人の場合は、抑肝散より抑肝散加陳皮半夏が適応になるケースが多いかと日頃感じています。もちろん、子どもの夜泣きに限っても、抑肝散加陳皮半夏が有効な場合がけっして少なくありません。

●夜泣きの漢方薬は睡眠障害にも有効

これらの夜泣きの処方、その他にも憤怒けいれんやレム睡眠行動障害、悪夢障害にも効果があります。乳児だけでなく、幼児期にも広く使えます。もっと大きくなってからの例としては、毎晩、殺人事件の夢を見てうなされていた男子中学生が、抑肝散加陳皮半夏を服用した後に、テレビ番組の体育大会に出場して活躍した夢を見たと言っていました。

●そして、帰って来る

患者さんたちにとって、赤ちゃんの頃の病気と治療の記憶は、その後も長い間残っているようです。小児科医を長く務めていると、10年以上間隔を空けて、同じ患者さんと再会する機会が多くなってきました。

最近再会した患者さんは、乳児期に夜泣きで治療した女兒ですが、今はりっぱな高校生になってクラシックバレエを趣味にしているということでした。近頃、ニキビがひどいので、漢方薬で治せないかという相談に来たのでした。浮腫やめまいも伴っていたため、当帰芍薬散を処方したところ、1カ月くらいでニキビはすっかりきれいになりました。バレエと一緒にやっている友だちから、「どうやって治したの？ 教えて」と聞かれるそうです。私が、「病院へ来るように勧め

てよ」といっても「ライバルには絶対教えない！ 私だけの秘密だから」と笑っていました。

こうした女性たちも、さらに成長して大人になり、中には彼氏ができたと病院まで紹介に連れて来てくれる子もいます。そして、実際に結婚式に招待される機会も増えてきました。福祉分野の言葉に「ゆりかごから墓場まで」という名言があります。小児科医の私の場合、「ゆりかごから」はまあいいとして、「墓場」に関しては自分の方が先に入りそうなので、せめて「結婚式まで」はお付き合いできたらいいなと思っています。

● Au Revoir ou adieu

この連載が始まって、3年の間、書きたいことが突然むくむくと首をもたげ、また、思いもよらない症例に出会い、その時々感情に任せて書いてきたため、

結果として系統的に手際よくまとめることができなかったことが心残りです。

最初に「カタい話で」と編集のAさんから釘を刺されたにも関わらず、途中から我慢できずに学術的ではない話が多くなってしまい大変申し訳なく思っています。私のような未熟者にこのような発表の場を与えてくださった各位と、私のとりとめのない話をほとんどノーカットで掲載していただいた編集のAさん、そして飽きずにご愛読いただいた読者の皆様に心より感謝いたします。

最後に、お別れの挨拶として、フランス語では永遠のお別れを意味する Adieu と再会を誓う Au Revoir があることを紹介して、結びとさせていただきます。

【文献】

- 1) 神山潤. 子どもの睡眠. 芽ばえ社, 2003, p.26.
- 2) 福水道郎・加我牧子・神山潤. 夜泣きの研究 (第1報) 睡眠覚醒リズムと夜泣きの頻度. 脳と発達. 2002, 34 (sppl), p.135.



イラスト・池野一秀